



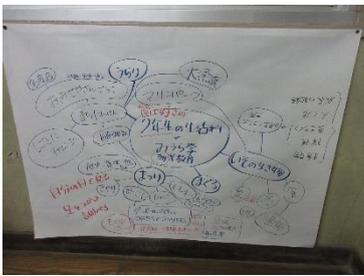
2月27日(水)、三崎小学校において、海洋教育についての懇談を行いました。

日本財団から勝俣さん、森友さんが、お茶の水女子大学から里先生が見え、市内の教員と意見を交換しました。

市内の出席者は、三崎小の佐藤先生、八束先生、南下浦小の藤田先生、上宮田小の札内先生、旭小の福本先生の5名でした。5人の先生方は、次のような海洋教育を実践しての実感を話しました。

「子どもたちが、多様な感じ方をする/海はそれを広く受け入れてくれる」「授業を通して、子どもの視点が変わってくる」「子どもたちが三浦の誇りを持つようになる」「算数や国語が苦手な子どもも、いきいきと学習している」 e t c .

里先生からは、「何を扱っても、広い意味で海につながっていく/例えば、給食の献立表から、海と人間のつながりを考えることもできる/総合以外にも、各教科との相互乗り入れに取り組んでほしい」というアドバイスをいただきました。



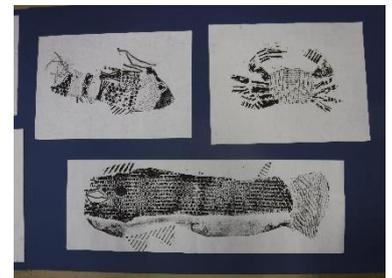
その後、たまたま会議室に貼ってあった2年生生活科のブレインストーミングの様子の掲示(左の写真)が話題になりました。グループの職員が協力して授業をつくり上げる様子が窺えて、興味を持った外部の方々も写真を撮っていました。

年度末のお忙しい中集まっていたいただいた先生方、ありがとうございました。

なお、里先生から、授業実践集とDVD「川と海の手がかり」をいただきました。各学校に配付する予定です。



旭小学校の3年生が、図画工作の時間に、紙版画で、海の生き物を製作しています。昨年度から始まった試みで、緩衝材のプチプチを使ってうろこを表すなど工夫をしています。それぞれの作品を一つにして、旭水族館をつくり上げていく予定です。



旭小学校の水槽です。ムラサキウニ、ウミウシ、ギンポなど、様々な生き物が共存しています。もう一つの水槽には、なんとエイが……。5、6年生の飼育委員会のメンバーが、エサやり等、世話をしています。



先生方のPCのデスクトップ上に、「海洋教育カリキュラム一覧」というアイコンから見る事ができるイントラネットサイトがありますが、そのトップページに、「みうら学・海洋教育モデルカリキュラム試案一覧」というリンクボタンを追加しました。学年ごとの年間を通したカリキュラムの試案を掲載しています。来年度のカリキュラムを考える際に、参考にさせていただければ幸いです。